

(別紙6)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年8月24日

【評価実施概要】

事業所番号	0773200480		
法人名	医療法人社団 敬愛会		
事業所名	グループホーム敬愛シニアガーデン富岡		
所在地	福島県双葉郡富岡町本町2-22 (電話) 0240-21-2250		
評価機関名	社会福祉法人 福島県社会福祉協議会		
所在地	福島市渡利七社宮111		
訪問調査日	平成19年7月30日	評価確定日	平成19年8月30日

【情報提供票より】(19年7月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年7月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 15人, 非常勤 3人, 常勤換算	12.45人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2 階建ての	1~2 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	9,000 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 800 円		

(4) 利用者の概要(7月1日現在)

利用者人数	18 名	男性 5 名	女性 13 名
要介護1	2 名	要介護2	1 名
要介護3	5 名	要介護4	8 名
要介護5	2 名	要支援2	0 名
年齢	平均 82.3 歳	最低 70 歳	最高 90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	今村医院・今村歯科医院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ももとは医院であった建物を改装してグループホームとしており、構造上使いにくい面も多い。また修繕の必要な場所も多いと聞く。しかし、職員間のコミュニケーションがよく、落ち着いた和やかな雰囲気を作り出しており、それが、利用者により影響を与えていると感じられた。介護度が高い方の入居が多いが、それを感じさせず、利用者間の会話や、職員の働きかけによるゲームや体操なども積極的に参加する姿があった。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	居室における環境作りが課題となっていたが、居室によっては位牌をおいたり、なじみのものを掲示したりという工夫が見られ、家族の協力の下、努力していることが伺われた。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	各フロアごとに職員全体で自己評価に取り組み、自分たちの日頃の姿の点検になったという声が聞かれた。管理者も外部評価の意味を理解し、この機会を活かそうという意欲が感じられた。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5)
	きちんと会議を開催しその記録も整備されているものの、今まではホーム側からの情報提供の場面が多く、意見を求め、日々の運営に活かすという面では不十分であった。今後さらに検討していったほしい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	玄関前にポストを用意し意見を集めようとしたり、面会時にこまめに声をかけ、意見や苦情、不安の把握に努めている。また、寄せられた声をもとに、職員一丸となってサービスの質の向上へ向けて努力している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	日常的に散歩等で外に出ていることや、高校生や地域の方がボランティアとしてホームを訪れていたり、夏祭りなどの行事の際に、地域の方を招待するなどしている。また、消防署や地域の方に万一の際の協力体制がある。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域を大切にする理念であり、ホーム内に掲示し、管理者を始めスタッフの方々も理念を理解し利用者支援をしている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日頃から話し合いをし理念の共有に努めている。日々のサービスにおいても理念を大切にし、職員間の意識付けを行っている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	高校生のボランティアや地元の伝統芸能の踊りといった方々の協力を頂き、交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	各フロアごとに、職員全員で自己評価に取り組み、日頃の業務や関わりを見直す機会になったという声が聞かれ、理解されていると感じた。また、前回の評価を元に取り組んだ結果などについての報告もあった。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>定期的に開催され、会議の記録もきちんとなされているが、会議の内容がホーム側から認知症に関する情報提供を行ったりすることが中心となっている。そのため、会議の場でホームの運営に関して意見が出される機会もない様子であった。</p>		<p>会議のメンバーに、もっと意見や提案を求めたりできるような議題の選択、情報の提供の仕方に工夫をしてほしい。</p>
6	9				
4.理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月所定の様式に利用者本人からのコメント、利用者の写真、担当者からのコメントを書いて送付している。また、請求書と預かり金の明細及び領収書を毎月送付し、報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族から職員の異動に関して入居者への影響を心配する話(3年前)があり、それに対して職員アンケートを実施した内容を示して説明したことがあった。また、玄関前にポストと用紙をおいて意見を表明しやすくしており、毎月開けて検討している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>定期異動に関しては調査前1年間は1回のみであった。また、フロアを越えて共通の行事を行うことや、互いのフロアを訪ねあったりして、職員も利用者も交流する機会を多く持ち、日頃から顔なじみになっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修会などには管理者をはじめ、職員なども参加し日々研鑽に努めている。		理解を深めるためにも研修後の記録を整理していったほしい。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会の会員になっており、勉強会などにも参加している。		参加した記録の整理をもう一工夫してほしい。
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしなが喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	訪問時にゲームや体操をしていた際に、職員が参加しようとする利用者に向けて声をかけて誘ったり、近くで一緒に体操するなかで、いきいきとした表情を引き出していた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	職員は利用者の希望に対して、状況を考慮して、責任者に対応を相談していた。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護計画作成に関して、日々の様子や気づきを取り入れ、担当の介護スタッフやフロアの責任者などと協議し作成しているものの、それが記録として残されていない。また、センター方式を取り入れているが、見直したり追加された情報があるか確認できなかった。		管理者とスタッフ間で協議内容を記録してほしい。
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	実際の介護場面においては日々、変化に対応して検討し、工夫を重ねているが、それが個別記録に残されていないため、現状に即した計画の作成が遅れてしまっている。		利用者一人ひとりに関する情報がバラバラに保管されているので、個別記録の記載方法やファイルの仕方を検討してほしい。
3.多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)</p>			

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回、協力医院からの訪問診療が提供されている。また、他の医者へも希望や必要に応じて受診できるようにしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	個人の記録の中に、重度化や終末期に関して、すでに対応して書面で記録されているものがあつた。また、話し合いや情報を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人前であからさまにトイレ誘導をしていない。また、記録をする場所・保管場所などには十分な配慮している。職員間の申し送りノートなどを使用し個人情報の取り扱いに気を使っている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	訪問時にも自室内で横になっており、食事の際にやっと起きてくる方など、その方のペースを大事にする姿が見られた。朝も寝ている方がいると、無理に起こさず、目覚めてから食事を提供するなどしている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳の用意・片付けなども本人の希望やペースにあわせて一緒に行っていた。食事中音楽などをかけて楽しい雰囲気作りをしていた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴回数が週3回で時間も午前2時間、午後2時間に指定されている。特に利用者からの希望は出ていないというものの、夏期に汗ばんだ際には、着替えと清拭のみの対応である。		現在の職員配置状況のなかで難しいかもしれないが、利用者の希望があった際には入浴などの対応を検討してほしい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	一人ひとりの力を活かした活動として季節ごとの壁面作りなどを取り入れていた。		さらに利用者が参加できること・少し支援すれば可能なことを見つけ取り組んでほしい。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	散歩に出かけるほかにも、ハーブ園を訪れたスナップが飾ってあるなど、戸外へ出かけていることが伺えた。また、毎月のシニアガーデン便りにもそうした様子が紹介されていた。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関にセンサーを取り付けて死角となるところをカバーし、鍵はかけていない。また、職員は拘束に関する研修会に参加し、鍵をかけないケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけしている	災害時のマニュアルや緊急連絡網なども作成されていた。避難訓練は年2回実施されている。施設内の安全点検も定期的実施されている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の個別記録用紙の中に水分量や排泄状況を記載し、チェックできるようになっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	もともとあった建物を利用しているために、浴室の段差が多かったりトイレが狭かったりしているが、踏み台を用意するなど上手に工夫していた。また、共有スペースや廊下などには季節感あふれる折り紙を飾ってあった。また、たくさんの利用者のスナップや似顔絵を飾るなどしていた。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	昨年の評価結果を受けて、家族の協力も得ながら、位牌をおいてある部屋やカーペットを敷いた部屋など利用者の希望するもの等を活かしており、個性が感じられた。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（別紙1）を添付すること。

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名	敬愛シニアガーデン富岡
記入担当者名	鈴木 洋子

評価結果に対する事業所の意見
特になし

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目 を記入してから内容を記入してください。